



ケータイゴリラ

～携帯電話回収キャンペーン～

私達にとってとても身近な携帯電話のせいで、アフリカで生きるゴリラが傷ついている?!・・・そんなショックから、2008年の春から国際青年環境NGO A SEED JAPANでは「ケータイゴリラ」という新しい活動が立ち上がりました。

皆さんは携帯電話とゴリラ—この2つにいったいどんな関係があると思いますか?

携帯電話の中には、さまざまなレアメタル(=希少な金属)が使われています。その一つ、「タンタル」は携帯電話の小型化に必要な不可欠な金属で、携帯電話の普及に伴って近年需要が急増しています。タンタルの採掘地はコンゴ民主共和国を中心とする地域に偏在しており、そ

A SEED JAPAN ^{は に}羽仁 ^{な が た}カント ^{き と し}カクタ
永田 諭史

のタンタルを巡って国や民族間で紛争が起きてきました。その結果ジャングルが荒らされたり、内戦に巻き込まれるなどしてゴリラの生息数は激減し、マウンテンゴリラに至っては世界でたった900頭程度になっています(図1～2)。またタンタルを採掘して得られる収益は武装勢力の資金源になっており、タンタルの採掘が紛争を助長しているのです。つまり私たちの使っている携帯電話が、間接的に紛争を助長し、ゴリラの生息地を奪っているのです。

このような現状の中、生き残っているゴリラを守るため、私たちケータイゴリラは不要な携帯電話を回収・リサイクル



図1 マウンテンゴリラの生息地 (出典: ケータイゴリラ HP より)



図2 マウンテンゴリラは、ウガンダ・ルワンダ・コンゴ民主共和国（以下コンゴ）の3国にまたがるヴィルンガ火山群とウガンダ南西部のブウィンディ森林に分布し、標高が1,500mから4,000mまでの山地林、竹林、湿地林から亜高山帯に生息しています。中でもコンゴのヴィルンガ国立公園（Virunga National Park）に多く生息しています（出典：ケータイゴリラHPより）

して、その売却収益の全額をゴリラの保護団体に寄付する仕組みを構築し、携帯電話を生活必需品として使用する多くのワカモノへメッセージを発信しています。国内最大規模の地球市民フェス・アースデイ東京や国内最大の環境見本市・エコプロダクツなどにブース出展する啓発・廃携帯電話の回収活動や、法人から一括して大量の廃携帯電話を回収するなどの方法を通じて、これまでに15,000台の携帯電話を回収し、87万円の寄付を行ってきました。また2012年以降はリユース（中古携帯電話として特定信用企業に売却）による回収も始め、より環境に優しい資源利用も行っています。さらにこの問題を啓発するため国際ゲストを招いてのセミナーの開催、コンゴ民主共和国/ルワンダ共和国へのゴリラ見学視察ツアーの実施、大学や高校で授業を行ったりしてきました。

ケータイゴリラでは今後「エコプロダクツ2014」や「子どもとためす環境まつり」

などのイベントに出展し携帯電話の回収をする予定です。また今年度は啓発イベントとして講演会やワークショップなども行う予定で、より多くの人にこの問題を知ってもらいたいと考えています。

これからもケータイゴリラは、ゴリラや現地で暮らす人の命が尊重される社会を目指し、携帯電話の回収活動を続けていきます。もし家に使い終わった携帯電話が眠っているようであれば、是非私たちと一緒に地球を守るアクションに参加していただければと思います。

■ ケータイゴリラ事務局

web : <http://keitai-gorilla.org/>

A SEED JAPAN

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-23

TEL : 03-5366-7484

FAX : 03-3341-6030

URL : <http://www.aseed.org/>

E-mail : info@aseed.org